



編集委員が地域の皆さんにインタビュー!

## 今回は4月にUターンした 新島出身の森碧廉さんにお話を伺いました。

小久保：多くの同級生が本土で就職する中で、大学卒業後すぐに新島へ帰ってきた理由は何ですか？

森：簡単に言うと貯金がしかたかったです。両親が若い頃オーストラリアで過ごしていて、自分も子供の頃に連れて行ってもらいました。オーストラリアなら本場でサーフィンもできるし、自分の写真や映像がどこまで通じるか試してみたいと思って。自己実現のためには、まずお金を貯めないと。大学まで行って地元に戻るのほもったいな

いと言われたり、周りの目も気になったりしたけど、島に帰れば自分の時間がたくさん取れて、新島の自然の中で過ごせるし、経済的に考えてもUターンのメリットは大きいかと思います。

小久保：写真に興味を持ったのはいつ？きっかけはありましたか？

森：もともと絵を描くのが好きで、絵の模写をするのに写真を撮っていました。母も祖父も写真が好きだったので、その影響もあ

ると思います。中学でサーフィンを始めて、自然と海に行く機会が増えて、サーフィンや海の写真をたくさん撮るようになりました。

学生時代には友だちのプロジェクトのサーフトリップや大会について行き、仕事として映像を撮る機会をもらいました。そこで海外での撮影経験と、いろいろな縁もできて、映像の魅力にハマりました。

小久保：写真を通じてどんなことを学びましたか？

森：大学で人の縁がたくさんできたことや、フィルム写真を学んで暗室での現像や焼き込み、アナログ写真の経験ができたのは良かったです。これまでの経験を通じて客観的に新島を見ることもできるようになったので、SNSにアップするときは、新島の中の外周らしさを意識するようにしました。

小久保：今後を担う若者として、これからの新島をどう考える？

森：Uターンすると東京生活の挫折や敗北感を想像されがちだけ



▲母・森朝美さん撮影

森碧廉・もりあれん(ゴンドラ)  
さんプロフィール

1999年生まれ、新島出身。新島高校卒業後、日本大学芸術学部へ進学し写真を学ぶ。卒業と同時にUターン。現在は新島工業所勤務。



▲allenmori99 Instagramより

ど、ゆくゆくは島に帰って来たい同級生もいるし、みんな新島愛があるのでUターンする人が増えるといいなど。先のことはわからないですが、最終的にはもっというんな技術を手に入れて、自分も新島に帰ってきたいです。職場の先輩たちの体験談を聞いて、子供の時に見ていたWAXのように、若い人が集まれる場所があったらいいなと思うし、それができそうな仲間が欲しいです。まだまだ先輩たちには追いつけないけれど、刺激は受けています。自分の写真で新島のアピールができればいいと思います。